

実体の硬さ測定

チョット一言

物を壊さずにその場（現場）で硬さを測定する。

概要

構造物や大型部材、製品として完成した部品など、壊すことができない状態でも部材の硬さが測定できます。

硬さは材料の強度を表す評価基準の一つであり、引張強さ（ σ_B ）に相對する指標でもあります。多くの製品（材料）は強度で区分・規格化され、流通しています。

適応事例

経験豊富な検査員が現場に出向き、
硬さの測定を行います。
結果はすぐに報告することができます。



種類／名称	概要／特徴	適応規格
エコーチップ (EQUOTIP)	検面に鋼球を落とし、跳ね返りの高さ（L値）を硬さに換算する。 (ダメージが最も小さい)	ASTM, DIN 規格に準拠
くぼみ直視型 ビッカースポータブル硬さ計 TIV (Through Indenter Viewing)	ビッカース硬さ同様に四角錐の圧子でくぼみをつけ、その大きさを硬さに換算する。CCDカメラを内蔵しているため、くぼみの状態が確認可能。 (小さな疵跡が残ります)	—
UCI法硬さ計 MIC10 (Ultrasonic Contact Impedance)	圧痕をつけるプローブロッドの先端が共振周波数で振動し、圧痕の接触面積によって周波数が変化することで硬さに換算する。 (小さな疵跡が残ります)	—

*どの手法においても、標準試験片でのキャリブレーションを実施します。

*検体から切り出したピース（試料）での測定も実施しています。

IHI

 株式会社 IHI検査計測

URL : <http://www.iic-hq.co.jp>
R-13-1 2024/10

営業統括部: 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
TEL: 03-6404-6033 FAX: 03-6404-6044

計測事業部 化学・材料部: 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-6-17
TEL: 045-791-3516 FAX: 045-791-3541